

平成31年2月14日付【水道産業新聞】  
北海道支部＜水コン協と災害支援協定結ぶ＞  
北広島市水道部 水道事業では道内初

# 水コン協と災害支援協定結ぶ

北広島市  
水道部

## 水道事業では道内初

北海道の北広島市水道部は1月28日、全国上下水道コンサルタント協会北海道支部と「災害時における技術支援に関する協定」を締結した。北広島市役所で締結式が行われた。水コン協と水道事業体で災害時の技術支援の協定を結ぶのは道内初。

協定は被災時の水道施設の早期復旧を目的としたもの。市管理の水道施設が被災した際、水コン協北海道支部から被害状況調査、応急仮設工事や本工事に係わる調査設計、災害査定資料作成などの技術支援を受ける。  
上野正三・北広島市長



協定書を手にする上野市長(左)と佐藤支部長(右)と決意を述べた。

力できることは大変光栄。今後も災害に対する事前の備えを進め、万が一大きな災害が発生した場合もこれまで培ってきた専門的な技術や経験を活かし、迅速に対応することで責務を果たす」と決意を述べた。

は「大規模災害時には官民含め多くの機関との連携が不可欠。水コン協北海道支部との連携が確保されることは、我々にとって非常に心強い。本市の防災力向上に大きく寄与するとともに、安全・安心な水の供給の大きな支えになる。今後も安全で安心なまちづくりを目指し取り組んでいく」と語った。

佐藤謙二・水コン協北海道支部長(ドーコン社長)は「北広島市の生活を守るうえで当協会が協